

新年



信頼される町行政と 議会を目指して

議長 川島 功士

新年あけましておめでとうございます。

2013年の希望に満ちた新春を言祝ぎ、町議会を代表してごあいさつを申し上げますと共に、平素から議会活動に対するご理解とご協力を感じたいします。

本年は巳年。み年・へび年とも読まれますが、本来は“し年”と読むようです。原字は頭と体ができ始めた胎児の様子を表すものようで、十二支では植物に種ができる時期と考えられています。つまり次の命が創られ始める時期ということになります。

国政におきましては、総選挙を経て、さらなる転換期を迎えております。

地方議会では、昨年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、議会の会期・招集権・議会運営・調査権・政務活動など、多岐にわたる改正が行われ、笠松町でも、議会改革特別委員会を立ち上げ、全文筆記による議事録や議長交際費のホームページでの全面公開へ全議員が一丸となって動き出しました。

地方行政は、首長と議員それぞれが、直接選挙で選ばれる二元代表制で行われています。議会といたしましても、住民の代表たる議会としての信頼を一層得られるよう、さらなる研さんを積んでまいり所存です。

笠松町は、平成16年6月に合併問題の住民投票を実施し、単独行政を行ってきました。行財政改革を進めるだけでなく、第5次総合計画にある「清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市」を目指し、道徳に根ざした「笠松人」づくりを基本に、町民の皆様、町行政、議会が一体となって「新しい命(まち)の胎動」が始まる年になることを祈念いたしております。

笠松町議会への一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、2013年が町民の皆様にとって、新たなる飛躍の年になるよう心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
平成25年 笠松町議会